

1995年1月1日～2016年5月31日の間に川崎医科大学総合医療センター で自己免疫性溶血性貧血と診断された患者さんへのお知らせ

課題名：自己免疫性溶血性貧血 (autoimmune hemolytic anemia : AIHA) 患者における悪性腫瘍発症との関連性の後方視的検討

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、1995年1月1日から2016年5月31日の間に、当院において自己免疫性溶血性貧血と診断された患者さんについて、悪性腫瘍合併率、および合併した場合に原因となる共通抗原の有無を検討するための後方視的調査研究を実施します。

研究期間は、2017年1月16日から2020年12月31日までです。

治療介入を伴わない既存情報(血液検査・尿検査・腹部画像検査及び組織検体など)のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。また、経済的負担・謝礼はございません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。研究成果は論文や学会などで発表いたします。研究に関するデータは論文などの発表から5年後に廃棄いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といえます。

この研究は川崎医科大学血液内科学教室の教室費を用いて実施されます。

なお、本研究を実施する関係者には、Meiji Seika ファルマ株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、アステラス製薬株式会社、中外製薬株式会社、MSD 株式会社、協和発酵キリン株式会社、富山化学工業株式会社、塩野義製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、武田薬品工業株式会社、小野薬品工業株式会社、日本イーライリリー株式会社、ファイザー株式会社、大鵬薬品工業株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社からそれぞれ奨学寄付金の受け入れがあります。このことについては事前に本学の利益相反委員会へ申告し適正に管理されています。

研究に関してご質問のある方や研究にデータが使用されることを希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

【問い合わせ先】

担当者：所属 川崎医科大学血液内科学

職名 教授 氏名 和田 秀穂(研究責任者)

TEL：086-462-1111 (内線 44542)

FAX：086-464-1194

E-mail：hematol@med.kawasaki-m.ac.jp